

2011年2月20日

京都府教育委員会
教育長 田原 博明 様

乙訓の文化遺産を守る会
会長 都出 比呂志

長岡宮第一次内裏(西宮)回廊推定遺構の保存についての要望書

平素は、京都府における教育・文化政策のご努力に感謝申し上げます。

昨年末に、向陽小学校の校舎改築にともなう発掘調査によって、桓武天皇の営まれた長岡宮の貴重な遺構が検出されました。専門の研究者の方々によれば、難波宮から移された第一次内裏（西宮）では、という見解も出されています。本会も12月24日付でこの貴重な遺跡の保存と活用をしていただきたいとの要望書を提出させていただきました。

さて向日市では、新聞報道などによりますと文化財保護審議会を開催され、遺構の部分移設による保存を行い、校舎の一部設計変更や工期の延長の予定との報に接しました。改めて発見された遺構の重要性を再認識するとともに、遺構の一括保存と活用についての具体的方策を検討すべき段階に至ったものと思います。

本会は、地域の文化遺産を守るとともに、それを活かした町づくりの提案を行ってきました。今回の貴重な遺跡の発見にあたっては、保存の要望をおこなうとともに、長岡京と今回の遺跡について学習会をおこない、地域の方々との学習を深めてきました。このたび発掘された遺跡の保存と活用について、下記の要望をさせていただきます。また関係諸機関にも、別紙要望を提出させていただきました。あわせて、ご検討いただくことができればと存じます。

記

- 1、今回発掘された遺構は部分保存ではなく、複廊遺構全体を残す一括保存の方策を再検討するよう向日市に指導されたい。
- 2、発見された遺構を「長岡宮大極殿西方回廊（推定西宮）遺跡」として「国指定史跡」に追加指定していただけるよう関係諸機関にはたらきかけていただきたい。
- 3、「向日市の地下には長岡京の遺構がある」という周知のことがらを理解していただき、当遺跡をはじめとした、長岡京・長岡宮の発掘・調査・研究と保存・活用について関係市町（向日市・長岡京市・大山崎町・京都市）にゆだねることなく、京都府が責任をもってあたるとともに、また国にたいして必要な予算措置を至急に講じるよう働きかけていただきたい。

以上

追記:なお本状要望の項目につき、文書での回答をお願い致します。

乙訓の文化遺産を守る会 事務局

〒617-0006 京都府向日市上植野町地後 10-12 坂下 勝美 宅